

がん化学療法後に増悪した根治切除不能な尿路上皮癌
パドセブ単剤療法 患者プロトコール

催吐リスク
軽度
放射線併用なし

投与プロトコール 1コース 28日間 コース制限なし 《開始時基準 PS:0~1、年齢:18歳以上》		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートKeep	生食 500mL	—	Day1,8,15	—	※体重が100kgを超える場合は、100kgとして計算する
プレメディ	5HT ₃ 受容体拮抗薬＋生食100mL		Day1,8,15	30分	
①	パドセブ: 1.25mg/kg [※] 1V(30mg/V)あたり注射用水3.3mLに溶解(10mg/mL)し、必要量を混注 生食 50mL	mg	Day1,8,15	30分	
<p>◆前投薬(解熱鎮痛剤、抗ヒスタミン剤など)は必須とせず、infusion reactionの既往歴がある患者など症例に応じて、パドセブ投与の30分前に前投薬を検討する。必要に応じて副腎皮質ホルモン剤の前投薬も考慮する。</p> <p>◆パドセブは希釈後の濃度が0.3 ~ 4.0mg/mLとなるように調製し、他剤と混和しないこと。また、直射日光にあてないこと。31kg未満では3段階減量時に規定外濃度となるため注意する。</p>					

佐賀大学医学部附属病院